

学校適正化について考える方向性について協議しました

1 第2回宇陀市学校適正化推進委員会を開催しました！

令和4年3月18日(金)に榛原小学校において、第2回宇陀市学校適正化推進委員会を開催しました。今回は、「適正な規模を維持できない学校の適正化を進めていく」のか、もしくは、「特色ある学校づくりをすることで、適正な規模を維持できない学校を存続させることも含めて考えていく」のかについて話し合いました。



2 委員による報告

○「適正な規模を維持できない学校の適正化を進めていく」

- ・多くの友達と過ごすことで、多様な考えに気付いたり、我慢したりする力などが身に付き、友達同士が刺激を受けて成長する姿が見られる。統合した幼稚園の子どもからは、友達が増えてよかったという意見が聞かれる。
- ・成長期に多くの人と接することで、多様な考え方が身に付く。クラス替えができると、人間関係のトラブルを解消することができる。一方で、少人数であれば、きめ細やかな教育が可能となる。

○「特色ある学校づくりをすることで、適正な規模を維持できない学校を存続させることも含めて考えていく」

- ・今以上に通学時間がかかると、子どもたちにとって体力的、精神的な負担になる。
- ・学校がなくなると地域への愛着がなくなり、そのことが地域を離れる主な原因になる。
- ・学校は地域コミュニティの核である。地域から学校がなくなることは、地域の文化がなくなり、ますます少子化が進むことになる。

3 当日、話し合った内容

上記の報告を受け、各委員からは、「コスト面も考慮した上で、子どもたちの問題を先送りしないような学校の在り方を考える必要がある。」「学校は地域コミュニティの核であり、単に人数だけで学校の在り方を検討すべきでない。」「今、学校に通っている子どもたちの意見を聞いてはどうか。」「論理(数)と感情(地域コミュニティの核)の両方の観点で議論を続けていく必要がある。」などの意見が出されました。

このような意見も踏まえ、推進委員会では「特色ある学校づくりをすることで、適正な規模を維持できない学校を存続させることも含めて考えていく」ことが適当ではないかという結論となりました。

4 ご意見をお聞かせください！

右の表は5、10、15年後の宇陀市の各学校の子どもの数の推計値を表しています。

宇陀市では、これまでも10～15年の間隔で学校を統合してきたことから、次回の推進委員会では、中長期的に見た子どもの数を踏まえた上で、学校の数などについて話し合いたいと思います。

推計では、令和19年度の1学年当たりの子どもの数は、小中学校とも市全体で100人余りとなり、各学年2～3クラス規模となります。

この現状を踏まえ、市全体として、小中学校それぞれ何校程度があればよいと思いますか。

このことについて、皆様のご意見をお聞かせください。なお、ご意見は市民からのものであることを確認するため、必ず（ご住所と）お名前をフルネームで明記の上、令和4年5月2日までに下記の連絡先宛てに郵送またはメールでお寄せください。（電話でのご意見は控えていただきますよう、お願いいたします。）

お寄せいただいたご意見は、会議の中で匿名で取り扱わせていただき、個別に回答はいたしませんので、ご了承願います。

5・10・15年後の児童生徒数(推計値) ()は1学年当たりの児童生徒数

	令和4年度	令和9年度	令和14年度	令和19年度
大宇陀小	185 (31)	152 (25)	134 (22)	117 (20)
菟田野小	143 (24)	119 (20)	105 (17)	92 (15)
榛原小	294 (49)	216 (36)	191 (32)	166 (28)
榛原東小	231 (39)	156 (26)	138 (23)	120 (20)
榛原西小	72 (12)	72 (12)	64 (11)	56 (9)
榛原合計	597 (100)	444 (74)	393 (66)	342 (57)
室生小	100 (17)	76 (13)	67 (11)	59 (10)
小学校合計	1,025 (171)	791 (132)	698 (116)	610 (102)

	令和4年度	令和9年度	令和14年度	令和19年度
大宇陀中	106 (35)	80 (27)	66 (22)	58 (19)
菟田野中	91 (30)	92 (31)	75 (25)	66 (22)
榛原中	336 (112)	294 (98)	205 (68)	178 (59)
室生中	72 (24)	47 (16)	33 (11)	29 (10)
中学校合計	605 (202)	513 (171)	379 (126)	331 (110)

※ 小学校の令和14、19年度及び中学校の令和19年度の児童生徒の総数は、国立社会保障・人口問題研究所の人口推移の令和9～14年と令和14～19年の減少率から算出

※ …1学年1学級のクラス替えができない規模の学校

※ 令和4年度は小学校第3学年まで35人学級、令和7年度以降は小学校の全ての学年で35人学級

郵送の場合：〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足17番地の3
宇陀市教育委員会事務局 教育総務課 宛
メールの場合：soumu - tekisei@city.uda.lg.jp



※会議の詳細については右のQRコードから市のホームページをご覧ください、

※次回、第3回宇陀市学校適正化推進委員会は、令和4年5月26日（木）に行う予定です。